

# 平成26年度 静岡県立こども病院エコー室改修衛生設備工事

図面リスト

図 番	図 面 名	縮 尺
P-00	表紙・図面リスト	N. S
P-01	特配仕様書 (1)	N. S
P-02	特配仕様書 (2)	N. S
P-03	工事区分表	N. S
P-04	衛生設備 器具表・配管平面図	1/50
P-05	スリッパラー数備 平面図	1/50
P-06	医療ガス数備 平面図	1/50

図 番	図 面 名	縮 尺

# 機械設備工事特記仕様書

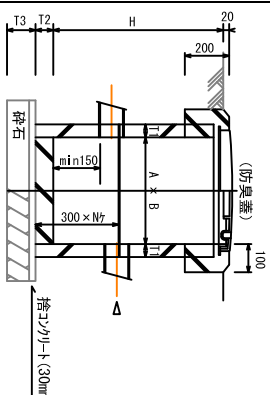
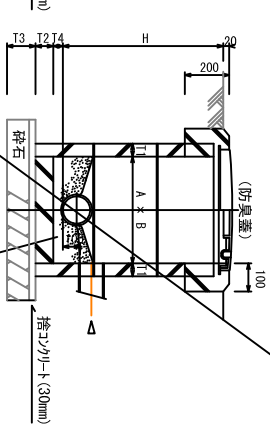
[illegible]

13	産業廃棄物管理票	(注)日本産業廃棄物処理振興機構(以下「JMA」とする)により行われる「JMA」が運営する「(特)処理職員」と題する、 工事終了時に発生した産業廃棄物の処理計画書及び再生素材利用促進計画書、または工事終了時に発生した産業廃棄物の処理計画書(以下「処理計画書」とする)を監督職員に提出するものとする。 工事に使用する機械は、その工事の着手前に、「(使用材料(機器)報告書)」を監督職員に提出して承認を受ける。 現場に搬入し、使用する機械については、自主検査記録(圧巻検査)を提出すること。
14	再生資源利用計画書及び特定資源利用促進計画書の提出	ただし、別表に掲げる機械については監督職員の検査を受ける。 なお、監督職員の検査の結果、合格した機械と同じ種類の機械は以後原則として抽出廃棄とする。
15	使用機械の選定	
16	機械の検査等	
17	技能士	
18	排出物対策等	
19	アスベスト分析	
20	アスベスト粉じん濃度測定	
21	水質検査	
22	化学物質の濃度測定	
23	検査	
24	完成図書	
25	電子納品	
26	共同工事	
27	共同工事	
28	共同工事	
29	共同工事	
30	共同工事	
31	共同工事	
32	共同工事	
33	共同工事	
34	共同工事	
35	共同工事	
36	共同工事	
37	共同工事	
38	共同工事	
39	共同工事	
40	共同工事	
41	共同工事	
42	共同工事	
43	共同工事	
44	共同工事	
45	共同工事	
46	共同工事	
47	共同工事	
48	共同工事	
49	共同工事	
50	共同工事	
51	共同工事	
52	共同工事	
53	共同工事	
54	共同工事	
55	共同工事	
56	共同工事	
57	共同工事	
58	共同工事	
59	共同工事	
60	共同工事	
61	共同工事	
62	共同工事	
63	共同工事	
64	共同工事	
65	共同工事	
66	共同工事	
67	共同工事	
68	共同工事	
69	共同工事	
70	共同工事	
71	共同工事	
72	共同工事	
73	共同工事	
74	共同工事	
75	共同工事	
76	共同工事	
77	共同工事	
78	共同工事	
79	共同工事	
80	共同工事	
81	共同工事	
82	共同工事	
83	共同工事	
84	共同工事	
85	共同工事	
86	共同工事	
87	共同工事	
88	共同工事	
89	共同工事	
90	共同工事	
91	共同工事	
92	共同工事	
93	共同工事	
94	共同工事	
95	共同工事	
96	共同工事	
97	共同工事	
98	共同工事	
99	共同工事	
100	共同工事	

<p>5) 上記(1)及び(2)の建築物等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他、及び火びの燃焼等による火災の危険を防止するため、必要に応じて、防火構造を有するものとする。</p> <p>呼び径60以上のスチレン樹脂管の継手は下記による。</p> <p>メカニカル型 ○スリッパ型</p> <p>異種屋室内間の接合面所に取り付け。</p> <p>ホソツの接続は、(※4種) 2種 ) とする。</p> <p>ただし、加工排水ホソツについてはこの限りではない。</p> <p>水栓機器のオーブンローエ及びドレン管は配管用炭素鋼管(白)とする。</p> <p>排水機器・配管等の支持、固定は、防火地点等における設備地盤対策ガイドライン(特約品)及び「建築設備耐震設計・施工指針(日本建築センター)2005年版」による。設計用水平地盤力は、下記に示す設計用水平地盤に、機器の質量を乗じたものとする。</p> <p>設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。</p>	<p>② スチレン鋼管継手</p> <p>21 鋼管用耐震管継手</p> <p>22 絶縁継手・絶縁ワッパ</p> <p>23 ホソツの接続</p> <p>24 水栓施設</p> <p>③ 耐震設計</p>
<p>● 設計条件</p> <p>1 設計条件</p> <p>2 ばい塵濃度計</p> <p>3 ばいじん量測定口</p> <p>④ チェンバー</p> <p>⑤ 吐出口・吸込口</p> <p>⑥ ダンパー</p>	<p>5) 設計条件</p> <p>6) 設計条件</p> <p>7) 設計条件</p> <p>8) 設計条件</p> <p>9) 設計条件</p> <p>10) 設計条件</p> <p>11) 設計条件</p> <p>12) 設計条件</p> <p>13) 設計条件</p> <p>14) 設計条件</p> <p>15) 設計条件</p> <p>16) 設計条件</p> <p>17) 設計条件</p> <p>18) 設計条件</p> <p>19) 設計条件</p> <p>20) 設計条件</p> <p>21) 設計条件</p> <p>22) 設計条件</p> <p>23) 設計条件</p> <p>24) 設計条件</p> <p>25) 設計条件</p> <p>26) 設計条件</p> <p>27) 設計条件</p> <p>28) 設計条件</p> <p>29) 設計条件</p> <p>30) 設計条件</p> <p>31) 設計条件</p> <p>32) 設計条件</p> <p>33) 設計条件</p> <p>34) 設計条件</p> <p>35) 設計条件</p> <p>36) 設計条件</p> <p>37) 設計条件</p> <p>38) 設計条件</p> <p>39) 設計条件</p> <p>40) 設計条件</p> <p>41) 設計条件</p> <p>42) 設計条件</p> <p>43) 設計条件</p> <p>44) 設計条件</p> <p>45) 設計条件</p> <p>46) 設計条件</p> <p>47) 設計条件</p> <p>48) 設計条件</p> <p>49) 設計条件</p> <p>50) 設計条件</p> <p>51) 設計条件</p> <p>52) 設計条件</p> <p>53) 設計条件</p> <p>54) 設計条件</p> <p>55) 設計条件</p> <p>56) 設計条件</p> <p>57) 設計条件</p> <p>58) 設計条件</p> <p>59) 設計条件</p> <p>60) 設計条件</p> <p>61) 設計条件</p> <p>62) 設計条件</p> <p>63) 設計条件</p> <p>64) 設計条件</p> <p>65) 設計条件</p> <p>66) 設計条件</p> <p>67) 設計条件</p> <p>68) 設計条件</p> <p>69) 設計条件</p> <p>70) 設計条件</p> <p>71) 設計条件</p> <p>72) 設計条件</p> <p>73) 設計条件</p> <p>74) 設計条件</p> <p>75) 設計条件</p> <p>76) 設計条件</p> <p>77) 設計条件</p> <p>78) 設計条件</p> <p>79) 設計条件</p> <p>80) 設計条件</p> <p>81) 設計条件</p> <p>82) 設計条件</p> <p>83) 設計条件</p> <p>84) 設計条件</p> <p>85) 設計条件</p> <p>86) 設計条件</p> <p>87) 設計条件</p> <p>88) 設計条件</p> <p>89) 設計条件</p> <p>90) 設計条件</p> <p>91) 設計条件</p> <p>92) 設計条件</p> <p>93) 設計条件</p> <p>94) 設計条件</p> <p>95) 設計条件</p> <p>96) 設計条件</p> <p>97) 設計条件</p> <p>98) 設計条件</p> <p>99) 設計条件</p> <p>100) 設計条件</p>

[illegible]

機械設備工事特記仕様書

浄化槽設備	1 処理方式 2 処理能力 3 本体構造 4 放流水質 5 配管材料	合併処理 ・ 建築基準法施行令第35条の認定品による ・ 建設省告示第1292号による。第( ) ( ) 人 処理対象人員 処理水量 ・ コンクリート製 ・ F R P 製 BOD p m 以下 ・ 一般配管用ステンレス鋼管 ( ) ・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 ( ) ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ( )	方式)
6 土留め工法 7 報告	3ヶ月間(月2回)点検を行い、完了後に報告書(点検記録、水質検査の結果)を提出すること。 なお水質検査は、生物化学的酸素要求量 (BOD)、水素イオン濃度 (pH) 浮遊物質重量 (SS)、大腸菌数(最確数法) について実施する。		
とく井設備	1 種別 2 掘削方式 3 ケーシング 4 ストレーナー 5 電気接点 6 水質検査	・ 浅井戸 ・ ロータリー式 ・ バークッション式 ・ ダウンホールハンプ式 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) ※ ステンレス製巻線型 ※ 連続測定 ※ 行う (断水全項目) ・ スポット測定 ・ 行わない	
〇撤去工事	① 冷媒 (フロン系) の回収及び破壊	・ 無 (1) 冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律 (フロン回収破壊法)」に従って行うこと。 また、法に規定するものその他、次の書類を監督職員に提出すること。 (ア) 第一種フロン回収業者登録通知書の写し (イ) フロン類の最終処理に関する証明書 (2) 行程管理票の様式は、監督員の指示による。 (3) 家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル (フロン類の回収を含む。) を行ない、監督員に次の書類を提出する。 (ア) 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し	
<div><div>&lt;改良樹標準図&gt;</div><div>ため樹 (改良樹)</div><div></div><div>インバート樹 (改良樹)</div><div></div><div>※ 有</div><div>・ 無 (1) 冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律 (フロン回収破壊法)」に従って行うこと。 また、法に規定するものその他、次の書類を監督職員に提出すること。 (ア) 第一種フロン回収業者登録通知書の写し (イ) フロン類の最終処理に関する証明書 (2) 行程管理票の様式は、監督員の指示による。 (3) 家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル (フロン類の回収を含む。) を行ない、監督員に次の書類を提出する。 (ア) 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し</div></div>			

（空門屋内機パネル落下防止・揺れ止め参考図）

天井ふところ (H) が 1.5m 以上の場合は、吊り下げと同材を用いて斜め補強を 4 面に施す。  
斜め補強は、1 面につき 1 本とし、手前と奥の斜め材が相対する方向に配置する。\*

吊ボルト

揺れ止め支持金具

吊ボルト

吊ボルト位置調整金具  
(吊ボルトの位置調整が必要な場合)

防振吊金具

ワイヤー (φ1mm 程度) 対角に設置  
(200mm 程度の余長を確保すること)

パネルの本体にワイヤーを固定

※天井ふところ (H) が大きく参考図の揺れ止めが有効でない場合は、監督職員と協議すること。

別表

名称
配管類
・ 給水管
・ 排水管
・ 冷温水管
・ 冷媒管
井類
・ 仕切井
・ バックライ井
・ 逆止井
・ 緊急遮断弁
ポンプ類
・ 給水用ポンプ
・ 空動用ポンプ
・ 消火ポンプ
※タンク類
・ 受水槽
・ 高圧水槽
・ 貯湯槽
・ 膨張水槽
※空動制御設備工事用機材
・ バックエジェクション
・ 空動制御機 (AHU)
・ 冷却塔
・ ヘッダー
※自動制御機器類
・ 中央監視盤
・ リモート盤
給排水衛生設備工事用機材
・ 衛生器具
・ 水栓
・ 相立てマンホール
※浄化槽
・ F R P 浄化槽
・ 動力型、制御型
・ フローワー
※さく井
・ スクリュー
その他
・ スリープ (つば付鋼管)

表のうち選択する事項は、○ 印の付いたものを適用する。  
◎ 印のない場合は、※印を適用する。

その他

1) ステンレス材を酸洗いたした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。

施工条件

- ※ 床天井スラフへのアンカー打設・はつりは、病院の業務に影響がない様に施工すること。  
(基本的に土・日・祝日作業とする。)
- ※ 地階廊下など、第三者の通行を妨げる施工に関しては、土・日・祝日又は、夜間作業とする。
- ※ 下階天井内の配管排水配管の撤去更新時は、下階の制限を院内にかけて頂き施工すること。
- ※ 仮囲いエリア外の作業を行う場合は、床・壁の養生を行い、清掃を行う事。
- ※ 請負者は、安全計画等及び消防各種届出・協議、特定施設届出・協議を行う事。





